

震災時にけがをした時の受診先

南区災害医療体制

できる限り多くの命を救うため、医療機関は負傷者等の緊急度・重症度に応じて分担して診療します。

震災時には医療機関に多くの負傷者等が殺到することが予想され、**医療機関では緊急度・重症度が高い患者を優先的に診療します。** 症状にあった医療機関を受診してください。

緊急度・重症度 判断の目安のひとつ

受診先

災害時に診療が受けられる病院・診療所は「診療中」を示す**赤色**または**黄色**の旗を出します。

重症

生命の危険の可能性が
あるもの、または生命の危険
が切迫しているもの
(例)意識が低下している、
大出血をしている、呼吸が浅い、
脈が触れないなど

災害拠点病院

- 横浜市立大学附属市民総合医療センター
(市大センター病院)
- 他市内12か所



中等症

生命の危険は
ないが、入院を
要するもの

災害時救急病院

- 佐藤病院・清水ヶ丘病院
- 県立こども医療センター
- 聖隷横浜病院・横浜東邦病院



黄色い旗が出されていれば、
受診できます

軽症

生命の危険がなく
入院を要しない
もの

近所の診療所・クリニック・医院など

南区休日急患診療所 (宿町4-76-1)
※被災状況により開設できない場合があります。

医療救護隊

※医師・歯科医師・薬剤師・看護師等で編成されます。
※状況に応じて地域防災拠点で巡回診療を行います。



(例)打撲・骨折などの外傷
慢性疾患・持病など

応急手当で対応可能な 軽度の負傷

(例)すり傷など

区民の自助・共助による応急手当

全ての地域防災拠点に応急手当用品(消毒液、包帯等)を
配備しています。

常用薬は1週間分 多めに用意を

持病等により常用薬を服用
している方は、お薬手帳を
日ごろから携帯するなど
活用しましょう。

常用薬は1週間分
くらい余裕を持
たせて保管してお
くと安心です。

お薬手帳

防災用品に 歯磨きセットを!

災害時のお口のケアは、
肺炎や全身の病気の悪化
を防ぎます。防災用品と
して歯磨きセットを
用意しましょう。



黄色い旗を 探しましょう

震災時に黄色い旗があがっ
ている病院・診療所・歯科
医院・薬局等は、診療や薬
の調剤ができます。

平時から上記施設では、
旗を出す訓練を年数回行って
います。

薬を提供できる薬局は
「開局中」の黄色い旗を
出します。





普段から軽症の場合に受診できる 自宅や職場近くの診療所等を確認しておきましょう

まずは「診療中」の黄色い旗が出されている診療所・クリニック・医院を受診しましょう



- ★この地図に記載している病院は、震災時に重症者が受診可能な災害拠点病院と、中等症者が受診可能な災害時救急病院及び休日急患診療所です。
- ★上記の病院のほか、軽症者が受診可能な近所の診療所・クリニック・医院があります。

地域防災拠点について



★横浜市では、自宅が被災し生活が困難になった人のための避難所として、南区内25か所の市立の小中学校を地域防災拠点に指定しています。市内1か所でも震度5強以上を観測した場合に開設されます。



南区の災害医療体制について詳しくはこちら▶

Yナース(横浜市災害支援ナース) 募集!!

大規模災害発生時に医師、歯科医師、薬剤師、市職員とともに医療救護活動を支援していただける看護職を募集しています。

Yナースについて
南区のページは
こちら▶



発行・問合せ先

南区役所 福祉保健課 事業企画担当

電話▶341-1183 fax▶341-1189
住所▶南区浦舟町2-33